

令和7年7月執行
参議院議員通常選挙

年代別選挙アンケート
調査結果
(令和7年8月実施)

令和7年12月
大磯町選挙管理委員会

【 はじめに 】

本調査では、大磯町の有権者の皆様の選挙や政治に対する意識や、「令和7年7月20日執行参議院議員通常選挙」における投票行動について調査し、今後の投票率向上に向けた投票環境の整備や啓発手法などを考える上の取り組みの参考とするために、令和7年8月に無作為抽出した有権者800人を対象にアンケートを実施しました。

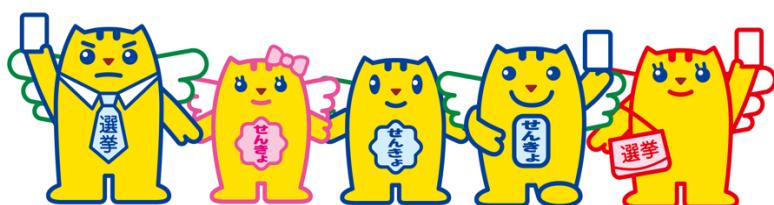
今回の調査結果は、今後の選挙事務の参考資料として役立たせていただきます。

本調査の実施に当たりまして、多くの皆様に御協力いただき誠にありがとうございました。

大磯町選挙管理委員会

【 目次 】

○ 調査の概要	1
○ 調査結果	2
問1 今回の参議院議員通常選挙で投票されましたか	2
問2 今まで投票に行かなかった時の理由はどれがあてはまりますか	2
問3 直近3回の選挙で何回投票されましたか	3
問4 今後の選挙についてあなたは投票に行かれますか	3
問5 期日前投票を利用したことがありますか	4
問6 期日前投票について場所や時間について知っていますか	4
問7 出張で他市区町村に滞在している場合や、ケガや病気で病院に入院している場合でも投票ができる「不在者投票制度」について知っていますか	5
問8 大磯町では選挙の周知を行っていますが、次のうち見たり聞いたりしたもの はありますか	5
問9 子どもの頃に親が行く投票に一緒に行ったことがありますか	6
問10 政治・選挙の話を家族や友人とすることがありますか	6
問11 どの選挙に関心がありますか	7
問12 選挙で投票する人（政党）を決めるときに何を参考にしますか	8
問13 投票についてどのようなお考えをお持ちですか	9
問14 どのような施策があれば投票に行くと思いますか	9
問15 皆が投票に行く良いアイデアや意見があれば教えてください	10～12
問16 あなたの性別についてお答えください	13
問17 あなたの年齢についてお答えください	13



調査の概要

(1)目的

選挙や政治に対する意識のほか投票行動について調査し、今後の投票率向上に向けた取り組みの参考とするため。

(2)対象

・町内に居住している18歳以上の有権者800人を無作為抽出

(3)方法

・案内通知を封書で発送。

・回答はQRコードからのインターネット回答

ただし、60歳以上の方は、①インターネット②アンケート用紙(郵送)のいずれかの回答とし、返信用封筒を同封した。

(4)実施期間

・令和7年7月31日(木)アンケート案内通知発送

・令和7年8月31日(日)アンケート回答期限

(5)回答数

257人(回答率:32.1%)※インターネット回答142人、アンケート用紙回答115人

年代	対象者(発送)数			回答数				回答率
	男	女	計	男	女	答えたく ない (未回答)	計	
18歳～20歳代	40	60	100	4	12	0	16	16.0%
30歳代	46	54	100	6	13	0	19	19.0%
40歳代	74	66	140	10 (1)	20 (0)	1(0)	31 (1)	22.1%
50歳代	84	76	160	21	22	0	43	26.9%
60歳代	46	54	100	27 (15)	26 (14)	1(0)	54 (29)	54.0%
70歳代	47	53	100	21 (17)	34 (31)	0 (0)	55 (48)	55.0%
80歳以上	46	54	100	20 (20)	12 (11)	0 (0)	32 (31)	32.0%
未回答	—	—	—	—	—	7(6)	7 (6)	0.9%
総合計	383	417	800	109(53)	139(56)	9(6)	257(115)	32.1%

年代別回答率は、50歳代以下が低く、60歳代以上の回答者が多い結果となりました。

(注1)対象者(発送)数は各年代100人を基準とし、有権者数年代別比率を考慮した人数としています。

(注2)回答数の()は、アンケート用紙による回答

(注3)各年代の回答率は、回答者(257人)を100とした比率

(注4)回答率は小数点第2位を四捨五入。アンダーラインは回答率平均未満

(6)調査結果の集計

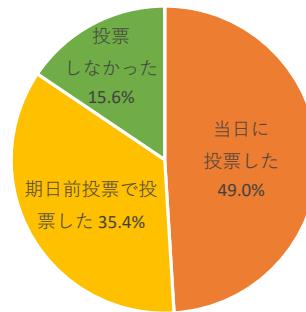
大磯町選挙管理委員会のPCにより集計

※端数処理の関係で100%にならない場合があります。

調査結果

問1 今回の参議院議員通常選挙で投票されましたか

	当日に投票した	期日前投票で投票した	投票しなかった	未回答
18歳～20歳代	5	3	8	0
30歳代	9	5	5	0
40歳代	14	12	5	0
50歳代	24	19	0	0
60歳代	26	23	5	0
70歳代	29	16	10	0
80歳以上	15	11	6	0
未回答	4	2	1	0
合計	126	91	40	0
比率(%)	49.0	35.4	15.6	0.0

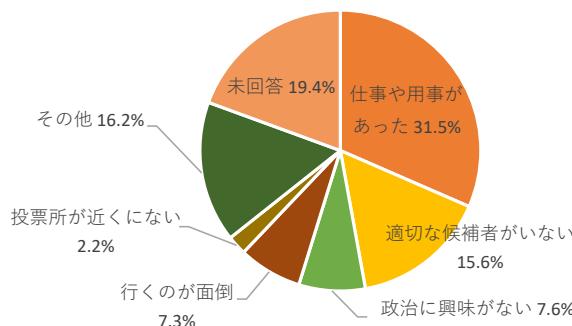


・回答者(257人)を100とした比率

今回の参議院議員通常選挙で投票されたかについては、「当日に投票した」が49.0%が最も高い割合になりました。次いで「期日前投票所で投票した」が35.4%で、当日投票した方と合わせると約8割となり、本アンケートに回答された方は、選挙に対する意識が高い方が多いと考えられます。

問2 今まで投票に行かなかった時の理由はどれがあてはまりますか（複数回答可）

	仕事や用事があった	政治に興味がない	投票所が近くにない	行くのが面倒	適切な候補者がいない	その他(自由記載)	未回答
18歳～20歳代	5	5	3	4	2	2	3
30歳代	10	4	1	3	2	0	5
40歳代	17	7	1	5	6	5	3
50歳代	25	7	1	1	14	7	3
60歳代	20	1	1	6	14	14	7
70歳代	14	0	0	2	7	12	22
80歳以上	6	0	0	2	4	11	13
未回答	2	0	0	0	0	0	5
合計	99	24	7	23	49	51	61
比率(%)	31.5	7.6	2.2	7.3	15.6	16.2	19.4



※複数回答件数（未回答含む）1314件」を100とした比率

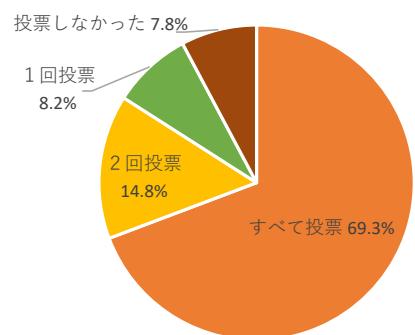
その他（51件）の内訳

- 【すべて投票している：18件】
- 【身体的理由：16件】
- 【私的的理由：8件】
- 【自分が思う政策や候補者がいない：3件】
- 【失念していた：2件】
- 【その他：4件】

今まで投票に行かなかった時の理由としては、「仕事や用事があった」が31.5%と年代別においても最も高い割合となりました。次いで「適切な候補者がいない」が15.6%となりました。その他のうち、「身体的理由」と回答された多くの方が60歳代以上の方でした。

問3 直近3回の選挙で何回投票されましたか

	すべて投票した	2回投票した	1回投票した	投票しなかった	未回答
18歳～20歳代	4	2	5	5	0
30歳代	10	5	2	2	0
40歳代	18	7	4	2	0
50歳代	29	10	4	0	0
60歳代	44	4	2	4	0
70歳代	42	6	3	4	0
80歳以上	25	3	1	3	0
未回答	6	1	0	0	0
合計	178	38	21	20	0
比率(%)	69.3	14.8	8.2	7.8	0.0

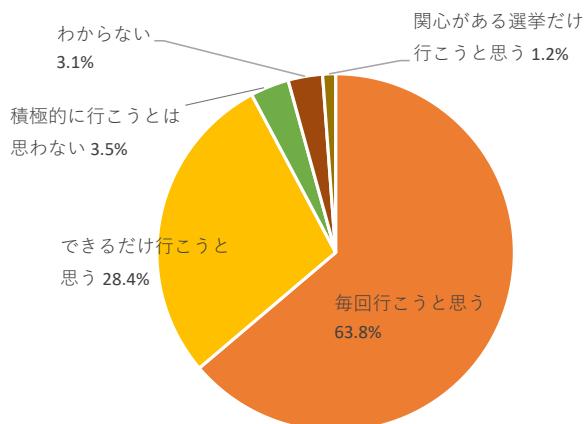


・回答者(257人)を100とした比率

直近3回の選挙で何回投票されたかについては、「すべて投票した」が69.3%と非常に高い割合となりました。年代別で「すべて投票した」と回答された方は、年齢層が上がるにつれて多くなっています。

問4 今後の選挙についてあなたは投票に行かれますか

	毎回行こうと思う	できるだけ行こうと思う	関心がある選挙だけ行こうと思う	積極的に行こうとは思わない	わからない	未回答
18歳～20歳代	4	8	0	2	2	0
30歳代	10	8	0	1	0	0
40歳代	16	13	0	2	0	0
50歳代	29	14	0	0	0	0
60歳代	38	11	2	1	2	0
70歳代	37	14	0	2	2	0
80歳以上	24	4	1	1	2	0
未回答	6	1	0	0	0	0
合計	164	73	3	9	8	0
比率(%)	63.8	28.4	1.2	3.5	3.1	0.0



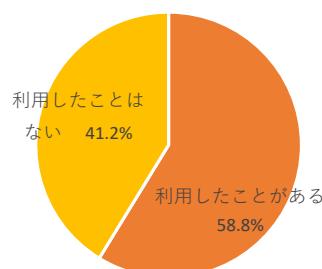
・回答者(257人)を100とした比率

今後の選挙について投票に行かれれるかについては、「毎回行こうと思う」が63.8%と非常に高い割合となりました。次いで「できるだけ行こうと思う」が28.4%で、毎回行こうと思うと合わせると約9割となり、選挙に積極的な方が多いと考えられます。

一方、「積極的に行こうとは思わない」の3.5%は、各年代に少数いることが確認できます。

問5 期日前投票を利用したことがありますか

	利用したことがある	利用したことない	未回答
18歳～20歳代	3	13	0
30歳代	7	12	0
40歳代	18	13	0
50歳代	31	12	0
60歳代	35	19	0
70歳代	35	20	0
80歳以上	18	14	0
未回答	4	3	0
合計	151	106	0
比率(%)	58.8	41.2	0.0

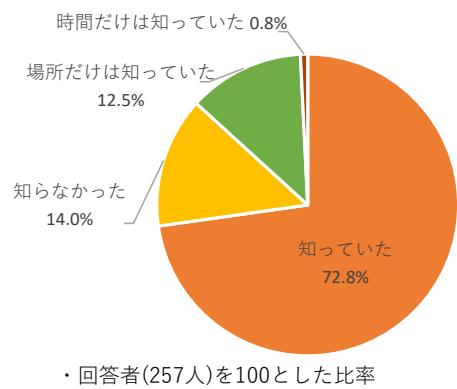


・回答者(257人)を100とした比率

期日前投票を利用したことがあるかについては、「利用したことがある」と回答された方は約6割で、半数以上の方が利用されていることが確認できます。
年代別においては、50歳代から70歳代の方が多く利用されていることが確認できます。

問6 期日前投票について場所や時間について知っていましたか

	知っていた	場所だけは知っていた	時間だけは知っていた	知らなかつた	未回答
18歳～20歳代	7	1	1	7	0
30歳代	9	3	0	7	0
40歳代	19	5	1	6	0
50歳代	26	13	0	4	0
60歳代	46	1	0	7	0
70歳代	47	4	0	4	0
80歳以上	26	5	0	1	0
未回答	7	0	0	0	0
合計	187	32	2	36	0
比率(%)	72.8	12.5	0.8	14.0	0.0

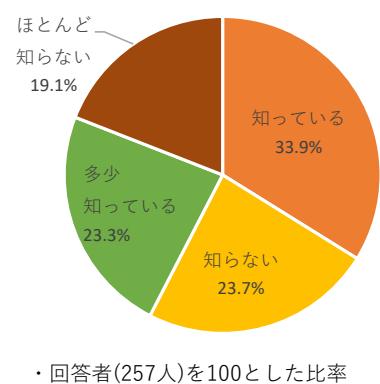


・回答者(257人)を100とした比率

期日前投票について場所や時間について知っているかについては、「知っていた」と回答された方は72.8%で年代別においても高い割合となりました。
回答者の多くの方は、期日前投票制度を認知されていることが確認できます。

問7 出張で他市区町村に滞在している場合や、ケガや病気で病院に入院している場合でも投票ができる「不在者投票制度」について知っていますか

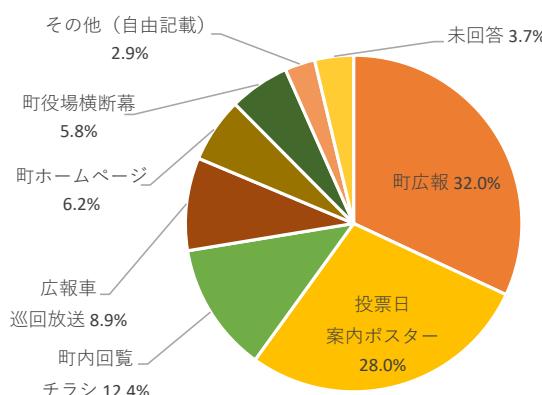
	知っている	多少知っている	ほとんど知らない	知らない	未回答
18歳～20歳代	4	2	5	5	0
30歳代	5	0	5	9	0
40歳代	8	4	8	11	0
50歳代	8	15	11	9	0
60歳代	22	17	9	6	0
70歳代	22	12	7	14	0
80歳以上	15	9	3	5	0
未回答	3	1	1	2	0
合計	87	60	49	61	0
比率(%)	33.9	23.3	19.1	23.7	0.0



不在者投票制度を知っているかについては、「知っている」「多少知っている」と回答された方を合わせると57.2%になりました。
一方、「知らない」「ほとんど知らない」と回答された方を合わせると全体の認知度は約半数ということが確認できます。

問8 大磯町では選挙の周知を行っていますが、次のうち見たり聞いたりしたものはありますか
(複数回答可)

	町の広報	町のホームページ	町内回覧チラシ	投票日案内ポスター	町役場横断幕	広報車巡回放送	その他(自由記載)	未回答
18歳～20歳代	1	2	1	4	0	6	0	4
30歳代	8	2	5	10	2	2	0	4
40歳代	15	1	6	19	6	4	2	3
50歳代	17	8	7	24	3	7	3	1
60歳代	36	7	14	33	9	8	3	3
70歳代	44	7	15	29	5	10	3	2
80歳以上	28	3	11	14	2	5	3	0
未回答	5	0	1	2	1	1	0	1
合計	154	30	60	135	28	43	14	18
比率(%)	32.0	6.2	12.4	28.0	5.8	8.9	2.9	3.7



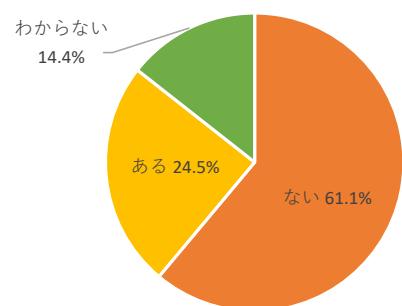
※複数回答件数(未回答含む)「482件」を100とした比率

その他(14件)の内訳
【見ていない: 6件】
【町以外の情報: 5件】
【その他町情報: 3件】

選挙の周知を行っているうちで見たり聞いたりしたものについては、「町の広報」が32.0%と最も高い割合になりました。次いで、「投票日案内ポスター」が28.0%となっています。
年代別においては、60歳代以上の方が「町の広報」、50歳代以下の方が「投票日案内ポスター」を多く見られていることが確認できます。

問9 子どもの頃に親が行く投票に一緒に行ったことがありますか

	ある	ない	わからない	未回答
18歳～20歳代	5	8	3	0
30歳代	9	10	0	0
40歳代	17	11	3	0
50歳代	15	16	12	0
60歳代	9	39	6	0
70歳代	3	43	9	0
80歳以上	3	27	2	0
未回答	2	3	2	0
合計	63	157	37	0
比率(%)	24.5	61.1	14.4	0.0

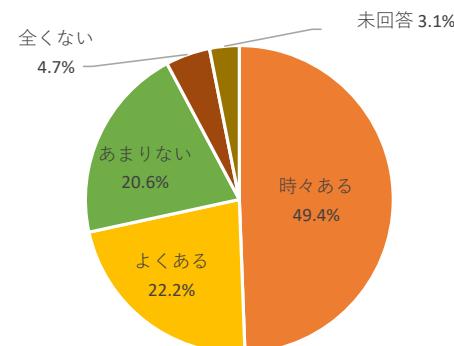


・回答者(257人)を100とした比率

子どもの頃に親が行く投票に一緒に行ったことがあるかについては、「ない」が61.1%と高い割合になりました。一方、「ある」と回答した方は、60歳以上では少ないことが確認できます。

問10 政治・選挙の話を家族や友人とすることがありますか

	よくある	時々ある	あまりない	全くない	未回答
18歳～20歳代	0	10	4	2	0
30歳代	4	7	5	2	1
40歳代	6	13	10	2	0
50歳代	10	26	6	1	0
60歳代	18	23	11	2	0
70歳代	13	32	8	2	0
80歳以上	6	16	9	1	0
未回答	0	0	0	0	7
合計	57	127	53	12	8
比率(%)	22.2	49.4	20.6	4.7	3.1



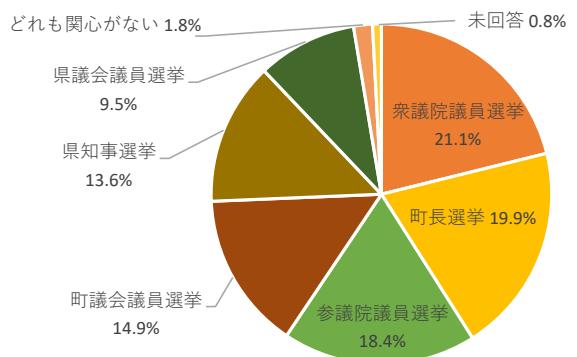
・回答者(257人※未回答含む)を100とした比率

政治・選挙の話を家族や友人とすることがあるかについては、「時々ある」が49.4%と年代別にみても最も高い割合になりました。

次いで「よくある」が22.2%で、日常において約7割の方が関心を持っていることが考えられます。

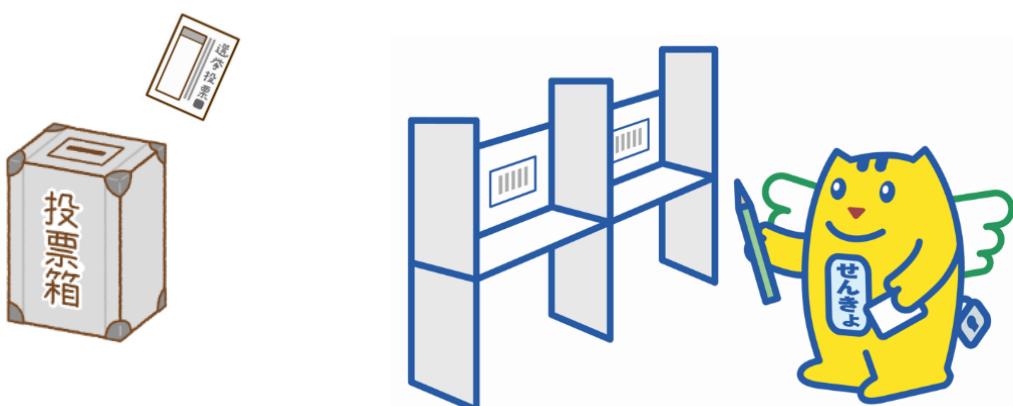
問11 どの選挙に关心がありますか（複数回答可）

	衆議院議員選挙	参議院議員選挙	県知事選挙	町長選挙	県議会議員選挙	町議会議員選挙	どれも関心がない	未回答
18歳～20歳代	8	7	5	8	4	5	5	0
30歳代	17	16	9	13	7	9	1	0
40歳代	23	20	14	19	10	12	5	0
50歳代	36	33	22	35	16	26	0	0
60歳代	42	36	31	43	14	31	4	1
70歳代	46	37	29	44	23	34	1	1
80歳以上	28	25	19	27	16	25	1	0
未回答	1	1	0	0	0	0	0	6
合計	201	175	129	189	90	142	17	8
比率(%)	21.1	18.4	13.6	19.9	9.5	14.9	1.8	0.8



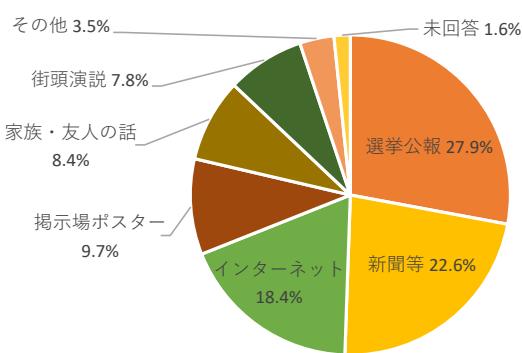
※複数回答件数（未回答含む）「951件」を100とした比率

どの選挙に关心があるかについては、「衆議院議員総選挙」が21.1%と最も高く、次いで「町長選挙」が19.9%となっています。この2選挙は、年代別においても関心度が高い選挙となっています。



問12 選挙で投票する人（政党）を決めるときに何を参考にしますか（複数回答可）

	選挙公報	掲示場のポスター	新聞等の報道	インターネット(SNS)	候補者等が行う街頭演説	家族・友人の話	その他（自由記載）	未回答
18歳～20歳代	7	2	4	11	2	8	0	1
30歳代	8	5	4	15	2	2	1	0
40歳代	13	4	9	16	6	6	3	1
50歳代	26	15	17	31	10	7	3	0
60歳代	35	13	30	20	11	8	5	1
70歳代	41	10	35	6	8	12	5	0
80歳以上	23	4	24	1	4	3	2	0
未回答	0	0	1	1	0	0	0	6
合計	153	53	124	101	43	46	19	9
比率(%)	27.9	9.7	22.6	18.4	7.8	8.4	3.5	1.6



※複数回答件数（未回答含む）「548件」を100とした比率

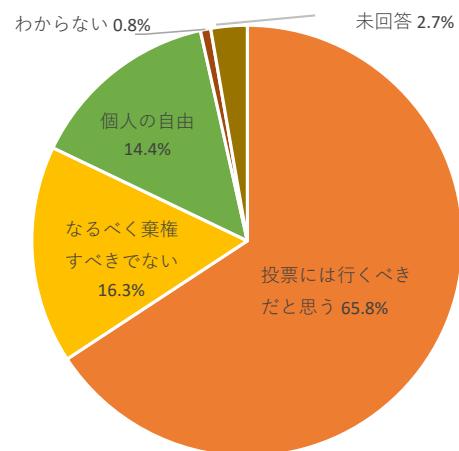
その他（19件）の内訳
【インターネットサイトやテレビ等：12件】
【政治活動等：3件】
【人の意見：1件】
【関心なし：1件】
【その他：2件】

選挙で投票する人(政党)を決めるときに何を参考にするかについては、「選挙公報」が27.9%で最も高く、次いで「新聞等の報道」が22.6%となっています。

年代別においては、60歳代以上の方は依然として従来からなじみのある「選挙公報」を見られる方が多く、50歳代以下の方は日常的にネット閲覧頻度が高いことから「インターネット(SNS)」による情報収集が多いことが考えられます。

問13 投票についてどのようなお考えをお持ちですか

	投票には行くべきだと思う	投票はなるべく棄権すべきでない	投票に行くか行かないかは個人の自由である	わからない	未回答
18歳～20歳代	7	3	6	0	0
30歳代	14	1	4	0	0
40歳代	21	3	6	0	1
50歳代	24	11	8	0	0
60歳代	40	8	6	0	0
70歳代	38	11	5	1	0
80歳以上	24	5	2	1	0
未回答	1	0	0	0	6
合計	169	42	37	2	7
比率(%)	65.8	16.3	14.4	0.8	2.7



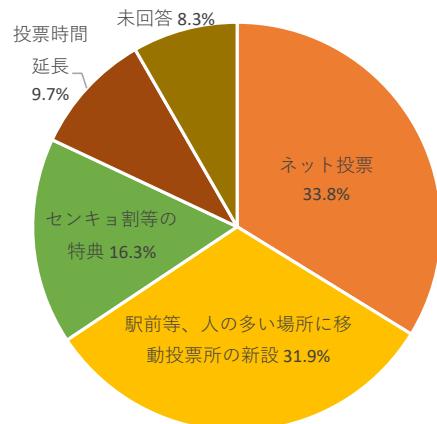
・回答者(257人※未回答含む)を100とした比率

投票についての考えについては、「投票に行くべきだと思う」が65.8%と年代別において最も高い割合になりました。次いで、「なるべく棄権すべきでない」が16.3%でした。

「個人の自由」は14.4%で、年齢層が下がるにつれてその考え方をお持ちの方が多いようです。

問14 どのような施策があれば投票に行くと思いますか（複数回答可）

	投票時間の延長	駅前等、人の多い場所に移動投票所の新設	センキョ割等の特典	ネット投票	未回答
18歳～20歳代	3	6	6	13	1
30歳代	1	7	5	12	1
40歳代	10	14	11	21	1
50歳代	8	23	8	32	0
60歳代	8	22	14	24	4
70歳代	4	26	9	14	12
80歳以上	1	16	6	5	6
未回答	0	1	0	1	5
合計	35	115	59	122	30
比率(%)	9.7	31.9	16.3	33.8	8.3



※複数回答件数（未回答含む）「361件」を100とした比率

どのような施策があれば投票に行くと思うかについては、「ネット投票」が33.8%と最も高い割合になりました。年齢層が下がるにつれて割合が高くなっています。

次いで僅差で「駅前等、人の多い場所に移動投票所の新設」が31.9%で、年代別においても多い回答となっています。

問15 皆が投票に行く良いアイデアや意見があれば教えてください（自由記載）

皆が投票に行く良いアイデアや意見についての自由記述は69件あり、下記に掲載しています。最も多かった意見は、「インターネット投票、その他の投票方法」の14件で「マイナンバーを活用したら良い」や「未だ投票所に足を運んでの投票のみ。投票方法の選択肢を増やしてみてはどうか」などの意見があがった。次いで、「投票所設置場所やアクセス」、「センキョ割等の特典」、「主権者教育」がそれぞれ9件の意見がありました。

皆が投票に行く良いアイデアや意見：69件		年代
【インターネット投票、その他投票方法：14件】		
ネット投票が可能になれば1番良いと思う。一人一人にマイナンバーがあるのだからそれを活用したら良いと思う。期日前投票に関しても投票可能時間が夜遅くまでできると投票率が増えると思う。仕事終わりに間に合う時間であって欲しい。また、期日前投票所も場所のアクセスが悪く、今回の私の様に家族全員では家をあけられない状況の中、家族1人ずつ投票所に行こうとは思えない。	18歳～20歳代	
各党や個人ごとの政策や公約を一覧表で見られるようにしたら候補者を選びやすいと思う。今回も候補者の一覧と各ホームページ等が紐付けられていて情報を集めやすくはあったが、各候補者ごとに紐付けられたサイトの種類が異なり、見づらかった。代表的な政策のみや注目度の高い公約のみでも一覧で見られる表があると良いと思う。		
マイナポータル活用した投票。	30歳代	
若者が行かない理由は3連休の中日等、あきらかに目的を外させる仕組みが悪い 年寄りや組織票だけではなく、ネットを使い投票率を上げる また、ばらまき等の補助金を使うのならば選挙に行く人にだけ支払う等、選挙に行きたくなる仕組みを作るべき。	50歳代	
単純明快。スマホで投票。これが1番簡単に投票率爆上がりします。これを阻む勢力は投票率の上昇を歓迎しない、既得権益側ですね。間違い無いです。	50歳代	
ネット経由の投票、マイナンバーカード番号にてログインして投票するようなシステム構築	50歳代	
電子投票を早急に実現化すべき	50歳代	
投票所まで歩いて行きづらい高齢者や障がいのある人、車の無い場合は自分も投票は諦めると思う。やはり、マイナポータルを利用したネット投票が一番効果があると思う。	50歳代	
スマホで投票	50歳代	
あらゆる場面でデジタル化が進んでいる中で、選挙投票に関しては未だ投票所に足を運んでの記名式投票のみ。従来からの記名式投票に加えてデジタル投票等も将来的には構築してはどうか？有権者の日常生活のスタイルが多様化していることで、投票方法の選択肢をもうちょっと増やしてみてはどうか？	60歳代	
今の時代はネット投票は必要だと思います。	60歳代	
ネット投票の充実実施	70歳代	
郵送できるといいと思いました。	70歳代	
集めてくれる人がいたらしいな。問題あるけど。	70歳代	
選挙に行き安くする→ネット投票の構築	80歳以上	
【投票所設置場所やアクセス等：9件】		
投票場所へのアクセスを良くする。（臨時マイクロバス運行など）	40歳代	
決められた投票所でなくても投票できるようになると良い	50歳代	
18歳以上の高校生のために、校内に期日前投票所を設置する。人生最初の投票のきっかけを作る。	50歳代	
投票用紙がなく、運転免許などで本人確認が簡単に出来て尚且つ移動投票車みたいなもので何度も巡回すれば良いのではないかと思います。	50歳代	
期日前投票は、国府支所では2日前からですが、本庁と同様の期間で行うと良いと思います。高校3年生は、18歳の生徒もいると思いますので、選挙権があります。行っていると思いますが、高校生に選挙制度や政治に関する授業を行うと良いと思います。模擬投票を行っている高校もあるそうです。高校の先生が多忙であれば、町役場の職員の方が、高校や中学校に出張して、わかりやすく説明してあげるのも良いと思います。また、中学生にも、わかりやすく、選挙制度や期日前投票説明をして、保護者にその話を説明するような宿題を出して、保護者の感想などを含めてレポートを提出させる。将来の有権者と現在の有権者に、双方に選挙について関心を持ってもらう。	50歳代	
コンビニなどで手近でやりたいです。	60歳代	
スーパー商業施設などの近くに投票出来る場所があると投票しやすくなると思います。	60歳代	
期日前投票所をもっと生き易くPRすべき。「投票日遊びたかったらその前に投票しよう」とか。TVやSNSを使ってPR。期日前投票所を増やす（コンビニや駅周辺など）。	70歳代	
住宅地に移動投票所を設置（時間限定も可） 国、県、市町村等向け、いいたい事受け箱を設け、それを知らせ、投票を促す。	70歳代	

【センキョ割等の特典：9件】

投票すれば、ポイントがもらえたり、お米がもらえたりすれば、行く人が増えると思う。	18歳～20歳代
行くと、飲み物がもらえる	40歳代
町指定のゴミ袋（もしくは、その割り引き券）	40歳代
投票すると税金や保険料が下がる。町議会は、住民税 衆院・参院は、所得税減税 裁判官は、消費税や社会保険料とか。選挙によって減税プランが変わると有権者が何に興味があるかわかりやすいと思う。 投票日は、投票所まで縁日の様にお店が並んでいる。当然、お店は各政党が収支管理して、投票所がある市町村に場所代を払う。何か買った方で投票する人には、後から使える金券のカタログを配布するとか。例えば、県内で使えるクーポン券とか、授業料1ヶ月割引とか、給食1ヶ月分無料とか使ったお金に応じて選ぶ。	50歳代
なにかアメニティを配る。水とか防災用グッズとか。	60歳代
何らかのポイントが付くとか、サンプルの配布など、楽しみなことがあるとよいかと思います。	60歳代
全ての選挙における投票ポイント制の導入	70歳代
子供連れの方に風船をあげたらいいが。	70歳代
問14で答え（センキョ割等の特典）にあるような物が有れば行くと思う。	70歳代

【主権者教育：9件】

子供の頃からの選挙に対する教育	50歳代
「投票に行くことは国民の義務である」ということを教育すべきです。	60歳代
小学生高学年くらいから政治について学ぶ機会を多くする	60歳代
政治の仕組み、社会や世界の状況について、子供の時から家庭や学校で話し合い、関心を持つことが大切ではないでしょうか。世界で起きている戦争や平和について、考えることが、大切だと思います。	70歳代
日常的に、世界情勢、社会、政治等に关心を持つこと、そして誰かと話しをする事だと思いますが、若い人達は友達とは、政治の話はしないと聞きます。子供の頃から、社会や政治について話あう訓練が必要だと思います。多くの人が難民になったり、ジェノサイドになったりしても、無関心ではいられないでしょう。SNSで正しくない情報を信じて投票する事も残念です。なかなか個人の意識を変える事は、難しい問題ですね。答えになっていなくて申し訳ありません。	70歳代
投票する権利と義務を学校教育の現場で低学年から学ばせて下さい。親と一緒に投票所に行くのが当たり前になるといいですね。	70歳代
小学校の時から何故必要か教えるべきと思う。	70歳代
アイデアなんかありません。義務です。教育以外無いと思います。	70歳代
十代の学校教育の中で国県市町村の成り立ち、自分との関わり、選挙の意味等を教えて身につけさせる事が肝要です。一人一人の幸福を国が世界が築きましょう。	80歳以上

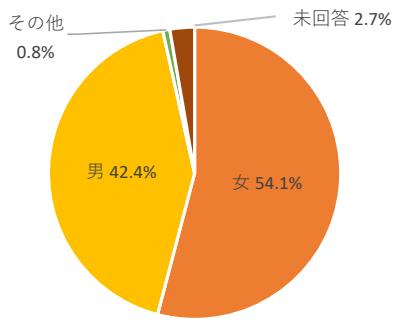
【わかりやすい政策等の発信：6件】

ひとりひとりを調べるのが面倒という声を聞いたがあるので、端的にわかりやすく、何をする党なのかを明言すべき。	30歳代
1. 特徴を小学生でもわかるレベルで噛み碎いた詳細と、メリットデメリットをカズレーザーや池上さん、小島よしお、田中敦彦のような人に解説してもらうこと。YouTubeなど。 2. そもそも参議院選挙ってなんですかのレベルで説明してほしい 3. そもそも誰が当選してもあまり街が変わったようにも、生活や暮らしが楽になったとも思えなくて、見えない裏方の活躍があるならどんな活躍をしたのか、良み手や視聴者が興味を持つ形でアピールしなければ活躍も見えず意味がない。	40歳代
政党名は知っていても自分の区の候補者が誰なのかも分からないので、もう少し身近に感じられるようなアピールをして欲しい。	40歳代
選挙の際に候補者や政治について明確な考えを持っていない人は投票すべきではないと思います。つまり何のための選挙なのかということを周知し、選挙の本来の意味を果たせるようにすべき。安易にセンキョ割等のサービスには反対です。	50歳代
税金がどう使われたのかの解説。そしてそれはどのような法律のおかげなのか、誰が立案し誰が賛成反対した法案だったのか、過去の履歴がネットでわかると、より選挙への関心が増すのではないか。前回の選挙の時の公約が守られたのか、政党や候補者毎の総括の公表	50歳代
政治が生活につながっていることを実感できなかったり、生活が忙しすぎて政治や選挙の情報に触れる機会が少ないと投票に行こうと思わないのではないかと思います。学校やマスメディアで何度も丁寧に国民主権や民主主義について知る機会があれば、家庭や友人間での政治に関する会話も増えて、日常と政治が近くなって投票に行く人も増えるのではないかと思います。目先の何かお得なことで誘う、という方法はあまりよいことではないと思います。	50歳代

【候補者の情報等：6件】	
候補者の方の情報をもっとネットなどで分かりやすく見比べられるサイトなどがあると分かりやすい。	30歳代
町政や小さい都市に関してはマンネリ化が大きく意欲が欠ける。全員の討論会等違いがわかる様な話し合いの場を設定して欲しい。ある種、エンタテインメント性も必要ではないか。 立候補者の個性・主張・出自等わかりやすい公報を。 投票用紙は特殊すぎてエンピツ書きでは消えるような事をSNSで上げている方がいた。それによる不正が起こっているとかボールペンや油性マジックを使う方法を考えてほしい。	60歳代
話している（政治屋が）ことが身近であ～よかったですと思えるようになることで行く気になる。その場限りの話が多すぎる。	60歳代
立候補者の魅力。（人柄や政策）	60歳代
これまでの町民の努力と経緯を理解し、有権者の意見を聞いて行動を取れる候補者が少ないこと。	80歳以上
半分が入れ替わる参院選挙は特に悩みました。夏場であれば、バス乗入のあるプリンスホテル前など政治家であった吉田邸バラ庭前とか、演説(生)を聞いてみたいです。	80歳以上
【選挙啓発：3件】	
CM等の広報で選挙に行こうと促すのは良いと思いますが、それよりかは期日前投票や不在者投票制度について積極的に広報を実施した方が良いと思います。あとは、自身の直接的な利益にならないと行くことすらしない方もいると思いますので、"選挙割"のような特典を用意するのも検討してみてはどうでしょうか。	30歳代
大磯にいる楽団のコンサートとか、開催してそのままの流れで、投票所に流す。同様に、集客として、避難訓練、花火、祭り、プール無料開放、チャレンジフェスタ、などと組み合わせる	50歳代
交付される投票済証明書をもっと魅力的なものにして欲しい。東京では人気アニメが使われている。大磯なら、いそべえ、あおみちゃんがいい。あるいは、子どもから公募しても良い 小、中学生に模擬選挙を行なってもらう。実際に選挙公約を解説したり、投票をしてもらう。	60歳代
【日常的な意識や関心：3件】	
日頃から身近な話題にしたらと思います。テレビではニュースを見る事を心掛ける。	80歳以上
国民が政治に関心を持つこと・町民が行政に関心を持つこと	80歳以上
若い人達が気軽に投票できるように(若い人の政治に対する考え方等)	80歳以上
【法律の改正：2件】	
「世代ごとに分母を調整して投票権の重みを変えるべき」だと考えています。「世代間の公平性」「未来世代の代表性」などの視点から、とても重要なことであります。現状は憲法改正しないと行えない時代にそぐわない憲法改正から進めていただきたいです。	40歳代
義務化罰則等を作る	50歳代
【町からの情報発信：2件】	
開票状況のリアルタイム配信。	50歳代
投票率の低迷は大磯町に限った事ではないだろうが、その町の民意が問われる事だろう。設問について4件考えてみたい。 1.町会、町長、県会、知事、国会議員選の際は、各地区別にも計算しているのだから、町公報に細かく載せる。 2.大磯町の投票率の目標値を定める(75%位)。 3.目標値を達成出来た地区には町長名で表彰する。 4.他の市町村の情報をを集め検討し、大磯町に出来る事は何でも実行する。	80歳以上
【町へ要望：2件】	
大磯町で2回投票したが投票証明がもらはず選挙割引が使えず残念だった。貰えるのともらえない差を教えてほしい。	30歳代
せっかく遅い時間まで前日投票ができるのに、行ったら真っ暗で入ってもいいのか分からなかったです。何かもう1つ目印があってもいいと思います。	50歳代
【現状のままでよい：1件】	
今のとおりで良いと思う。（期日前投票できるのであるから不都合なところはない。）	70歳代
【その他】	
三連休の真ん中など、予定が入り、行きにくくなるような日を避けると良いと思う。	50歳代
良いアイデアは分かりません。実際私もそうなのですが、政治等にあまり興味がなく自分一人が投票してもこの世の中がかわるものではないだろうと思っているのではないかでしょうか。何をしても行く人は行く、行かない人は行かない、そんな中で思う事は行政の方々や選挙事務をされる方々の負担を減らすことの方が大切なのではないかと。朝早くから夜遅くまで、開票事務の終了は夜中過ぎ、期日前投票も何日もあります。せめて当日はもっと早くに終了して開票を早く行う方が良いのではないかと思うのです。	60歳代
白票も数えては？誰にも投票したくなくても自分には投票の義務があります。でもしなければ適当に入れてしまいますが。自分の1票がもったいない。白票も意思の1票です！考えても良いのではと毎回思っています。	70歳代

問16 あなたの性別についてお答えください

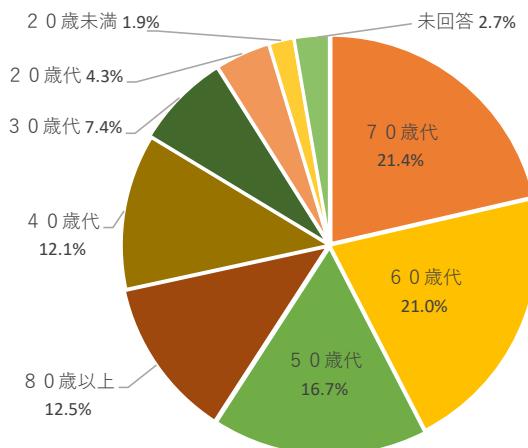
	男	女	その他 (答えたく ない)	未回答
合計	109	139	2	7
比率(%)	42.4	54.1	0.8	2.7



・回答者(257人※未回答含む)を100とした比率

問17 あなたの年齢についてお答えください

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	未回答
合計	5	11	19	31	43	54	55	32	7
比率(%)	1.9	4.3	7.4	12.1	16.7	21.0	21.4	12.5	2.7



・回答者(257人※未回答含む)を100とした比率

みんなで投票。みんなで参加。
あなたの一票大切に

